

学院創立百周年にあたって

学院長 木川田 一 郎

この度、本学院創立百周年および大学創立二十五周年を迎え、その感謝と喜びを分かち合い度く存じ、ここに、記念論文集を刊行することと相成りました。

本学院の創設者である英国聖公会宣教協会 (C. M. S.) は、18世紀に起った欧米のキリスト教信仰覚醒と海外伝道の気運に刺戟され、1799年、英国教会内に発足した宣教団であり、聖書の教えに立脚し、学問と経験を尊ぶ英国の気風を反映し、従来の植民地政策の反省と批判に立って、アフリカ、アジアで宣教し、キリストの福音の伝道だけでなく、文化的社会的に先駆者的な働きを果しました。西アフリカのヨルバ宣教では、キリスト教と文明と通商の三つは併立するとの方針を实践し棉産業振興と奴隷制度廃止に大きく貢献し、インドでは、始めて不可触民と呼ばれた人々に伝道し、多くの信仰者を生み出し、学校教育を行い、土地を得て農業と生活の向上に参画しました。

今日の C.M.S. は福音の伝道、福音の本質に基づく社会の形成及び、教会の刷新に参与することを旗印としております。

いま、世界の平和と人権と、富の南北隔差等の問題が鋭く問われ、また、学問の悪魔性も云々される時代でもあります。学問の研究や教育は、イエス・キリストの祈りの様に世界と人類が“悪から救い出され、神の国の成就に与る”ことに目的を設定しなければならないと存じます。

本学院の教育と研究は大きなものとは、いえませんが、建学者 C.M.S. の精神を継承し、イエス・キリストの掲げる祈りの大目標を目ざし、世の光、地の塩として世界と若人のためお役に立つことを念願しております。

この記念号は、本学院の研究者たちの真摯な努力の賜物であり、神の国建設

に向って些かなりとも貢献できるものと信じ，世に問う次第であります。

御高覧と御批判とを賜りますれば，第二世紀に向う本学院にとりまして幸いに存じます。